

TMS でエイリアスが H.323 エイリアスではなく IP アドレスとして表示されるのはなぜですか。

内容

[概要](#)

[TMS でエイリアスが H.323 エイリアスではなく IP アドレスとして表示されるのはなぜですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は Cisco TelePresence Management Suite に関連しています。

Q. TMSのエイリアスがH.323エイリアスではなくIPアドレスとして表示されるのはなぜですか。

A. TMSは確認できないコールルートを表示しません。

システムがH.323ゲートキーパーに登録されていることをTMSが示していることを確認します。

1. [Systems] > [Navigator] に移動します。
2. 要求システムを選択します。
3. [設定]タブをクリックし、[ネットワーク設定]ペインまでスクロールします。
4. [H323 Call Setup Mode]が[Gatekeeper]で、[Gatekeeper Registration Status]が[Registered]であることを確認します。

スケジューリング用のコールのルーティングでは、TMSは、コール中の番号を既知の管理対象システムに解決できるかどうかを追加のゲートキーパー隣接チェックを実行します。TMSは、TMSデータベースからリモートシステムのゲートキーパーを検索し、要求側システムのゲートキーパーアドレスと照合します。

- これらが同じ場合、互換性があると見なされ、エイリアスダイヤリングが許可されます。
- ゲートキーパーが異なる場合、デフォルトでは、TMSはエイリアスを直接ダイヤルできると想定できず、エイリアスによるダイヤルは許可しません。TMSはIPアドレスのみを表示します。
- ゲートキーパーがTMSによって管理されている場合、TMSはゲートキーパーで定義されているネイバーをチェックし、ゲートキーパーが互いにネイバーとしてリストされている場合、エイリアスダイヤリングが許可されます。

隣接ゲートキーパーを無効にする場合は、次を確認します。

1. [管理ツール(Administrative Tools)] > [設定(Configuration)] > [会議設定(Conference Settings)] > [高度な会議オプション(Advanced Conference Options)]に移動します。
2. [Use Flat E164 Dialing Plan When Routing Calls]を[Yes]に設定します。
3. [Save] をクリックします。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)